

[内装小面積向き]

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
スチップル仕上げ
施工の手引き

平成21年11月作成

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー技術部
建設樹脂グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	51.4㎡/缶
主 材	ジヨリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200T□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約11㎡/缶

<主な施工道具>

- ・ リシガン(口径 4~6mm)※1
- ・ コンプレッサー(3馬力(2.2kW)以上:1台使用の場合)※1
- ・ ステンレスゴテ※2

- ・ マスチックローラー (ジヨリパットローラーJR-20:9インチ)

※1 下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合

※2 下塗りを左官業者がゴテ塗りで施工する場合

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード(プラスターボード)又はモルタル金ゴテ押さえ(平滑)とする。

<スチップル仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500※	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	JQ-200シリーズ	20kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	0.6kg/m ²	
吹 圧 力	5~7kgf/cm ²	
使用ガン	リシンガン口径φ4~6mm	
	※左官業者の場合は、ジョリパットを無希釈で0.9kg/m ² となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。(下ごすり)	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上塗り

配 合	JQ-200シリーズ	20kg
	清 水	2ℓ
塗 布 量	1.0kg/m ²	
施工方法	マスチックローラーJR-20で薄く均一に塗布する。一度材料を配ったあとローラーで引きのばすようにする。	

追いかけ(5分以内)

4. パターン付け

	・マスチックローラーJR-20を上下・左右に転がし、均一に塗材を引き起こす。	
	・ローラーは引きずらないようにし、力を入れず回転させる。	

<施工のポイント>

- ・ マスチックローラーJR-20をランダムに転がす。
ローラーは軽く転がし、回転するようにしてパターン付けする。(図-1)
- ・ 配り塗りは、塗布量が均一になるように行なう。(塗布量が異なると山の立ち方がバラツキ、パターンが汚くなる。)

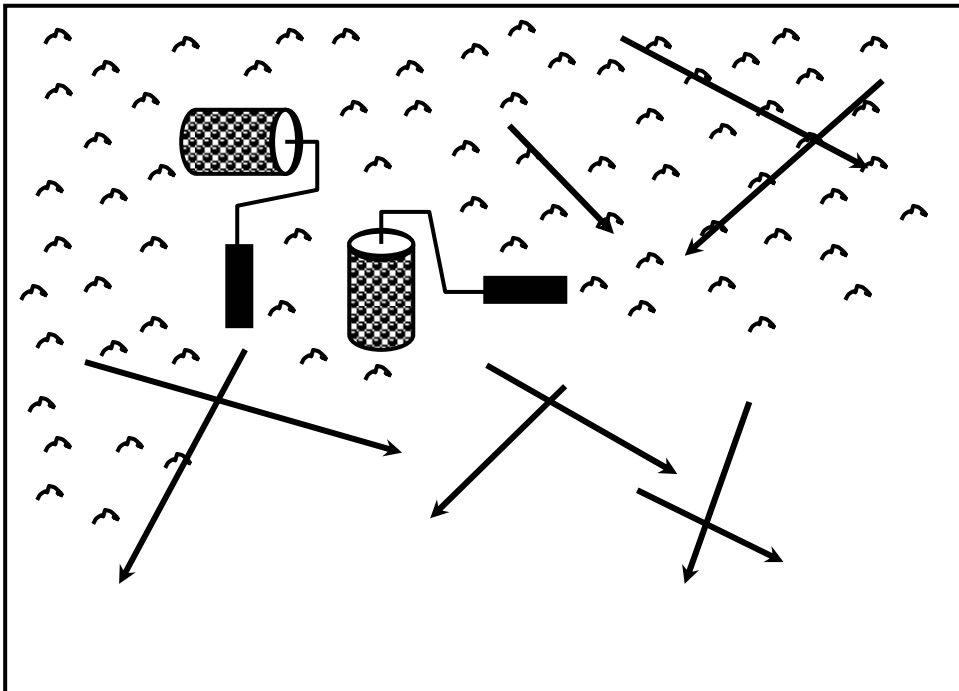
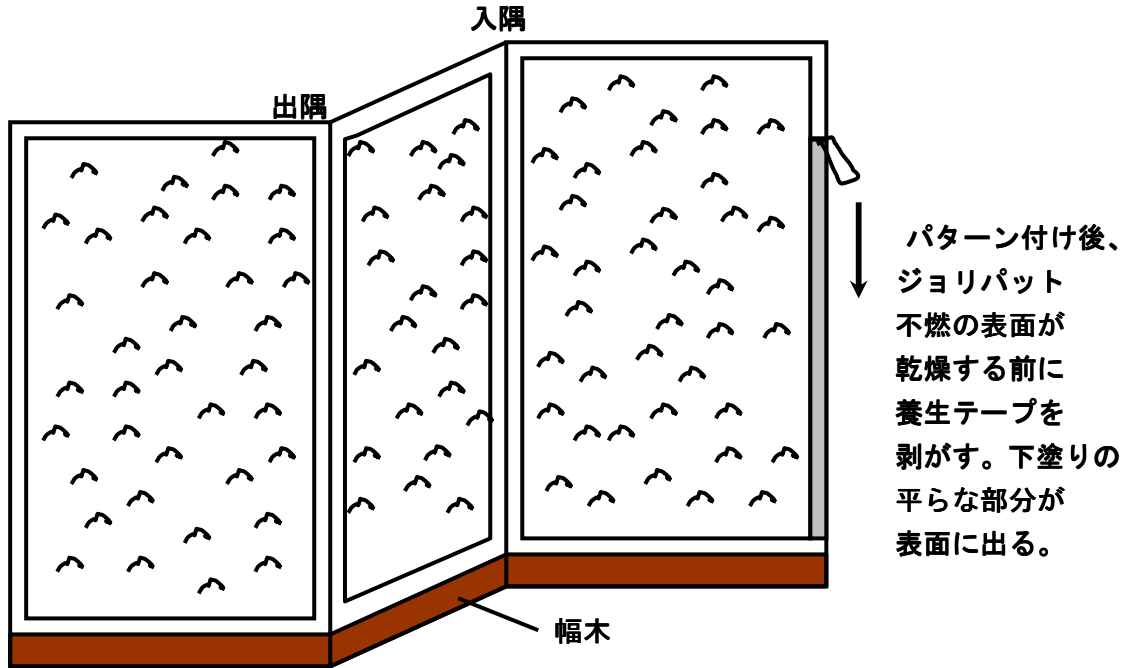


図-1

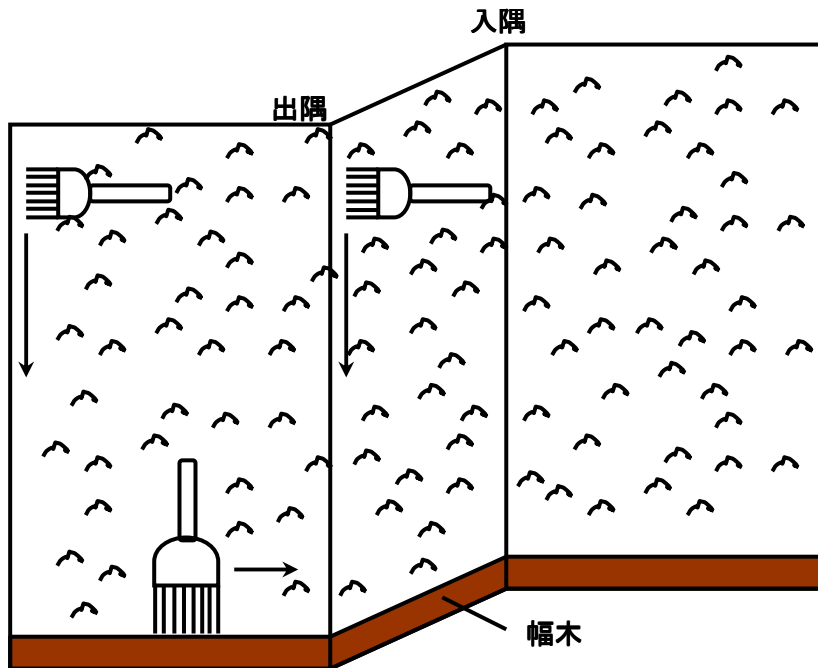
○入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸して水分を切った刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図-4）



化粧目地をとる工法

ジョリパット不燃を下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図-4

<施工の注意事項>

- ・ 配り塗りはできるだけ均一にしてください。
- ・ 水希釈の割合や塗布量の差により山の立ち方が異なりますので、調整してください。
- ・ マスチックローラーJR-20にジョリパット不燃が多く付着したときは、コテ板などの上でローラーを回転させながらジョリパット不燃を取り除く。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。また、事前に見本板でも仕上がり等の確認を行って下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため、事前に近隣への案内等に配慮して下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤等で有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用して下さい。また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用下さい。
- ・ 器具を洗浄した水を河川、側溝への施流は避けて下さい。

以 上